第52回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第52回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

現況のDI値は、どの業種も物価高騰の影響により低迷状態が続いており、特に農業は資材高騰等により大きな打撃を受けている。小売業・飲食業は節約志向の影響を多少受けているが、事業所により景況感に温度差が出ている。
 今後4月から6月にかけての見通しについては、人手不足と物価高騰の影響により厳しい状況が続く見込み。また2024年問題や国の補助制度終了に伴う電気・ガス料金の上昇など課題も多く残っており、今後も注視する必要がある。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

令和6年3月調査

	前回調査		今回調査			
	A 現況 (R5.12)	見通し (R6.1-3)	調査数	B 現況 (R6.3)	(B-A)	見通し (R6.4-6)
					前回現況 との対比	
総合	-22	-6	85	-22	0	-4
農業	-38	-13	7	-43	-5	0
建設業	-25	-25	11	-18	7	-18
製造業	0	33	10	0	0	10
卸売・小売業	-32	-5	22	-32	0	5
観光業	-10	10	11	0	10	-9
飲食業	0	-13	4	-25	-25	0
サービス業	-30	-15	20	-30	0	-10

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査方法 オンラインアンケート、FAX、電話等による調査
- 調査内容 (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
(2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法 (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
「DI」(Diffusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

武雄市 営業部 商工課

〒843-8639

武雄市武雄町大字昭和12番地10

TEL:0954-23-9210 FAX:0954-23-3816

E-MAIL: syoukou@city.takeo.lg.jp